

4 既設大学等の状況

大学の名称	森ノ宮医療大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
保健医療学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成19	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16				
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	-	平成23	同上	令和4年入学より学生募集停止			
理学療法学科	4	-	-	-	学士(理学療法学)	-	-	-	平成19	同上	令和4年入学より学生募集停止			
作業療法学科	4	-	-	-	学士(作業療法学)	-	-	-	平成28	同上	令和4年入学より学生募集停止			
看護学部	4	90	-	270	-	0.98	-	令和4	令和4	同上				
看護学科	4	90	-	270	学士(看護学)	0.98	-	令和4	令和4	同上				
総合リハビリテーション学部	4	150	-	370	-	1.06	-	令和4	令和4	同上				
理学療法学科	4	70	-	210	学士(理学療法学)	0.99	-	令和4	令和4	同上				
作業療法学科	4	40	-	120	学士(作業療法学)	1.20	-	令和4	令和4	同上				
言語聴覚学科	4	40	-	40	学士(言語聴覚学)	1.02	-	令和6	令和6	同上				
医療技術学部	4	270	-	1080	-	1.09	1.05	-	平成19	同上				
臨床検査学科	4	70	-	280	学士(臨床検査学)	1.06	1.01	-	平成28	同上	令和4年保健医療学部から名称変更			
臨床工学科	4	60	-	240	学士(臨床工学)	1.06	1.04	-	平成30	同上	令和4年保健医療学部から名称変更			
診療放射線学科	4	80	-	320	学士(診療放射線学)	1.13	1.09	-	令和2	同上	令和4年保健医療学部から名称変更			
鍼灸学科	4	60	-	240	学士(鍼灸学)	1.08	1.05	-	平成19	同上	令和4年保健医療学部から名称変更			
大学全体	4	510	-	1720	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- 本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- 「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<総合リハビリテーション学部 作業療法学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和4年度】		【令和5年度】		【令和6年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	小林 貴代 (63) <令和4年4月> 専門学校卒	小林 貴代 (64) <令和4年4月> 専門学校卒				
		基礎ゼミナール チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 日常生活活動学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 義肢装具学 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 生活環境論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習	基礎ゼミナール チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 日常生活活動学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 義肢装具学 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 生活環境論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習				
専	教授	伊藤(茂原) 直子 (62) <令和4年4月> 修士(リハビリテーション科学)	伊藤(茂原) 直子 (63) <令和4年4月> 修士(リハビリテーション科学)	伊藤(茂原) 直子 (64) <令和4年4月> 修士(リハビリテーション科学)			
		基礎ゼミナール IPW論 小児科学(人間発達学) 作業療法概論 発達障害作業療法評価学 発達障害作業療法治療学総論 発達障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 発達障害作業療法治療学演習 障害者地域生活支援論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(発達障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習	基礎ゼミナール IPW論 小児科学(人間発達学) 作業療法概論 発達障害作業療法評価学 発達障害作業療法治療学総論 発達障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 発達障害作業療法治療学演習 障害者地域生活支援論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(発達障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習	基礎ゼミナール IPW論 作業療法概論 リハビリテーション概論 小児科学(人間発達学) 作業療法概論 発達障害作業療法評価学 発達障害作業療法治療学総論 発達障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 発達障害作業療法治療学演習 障害者地域生活支援論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(発達障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			
専	教授	松下 太 (53) <令和4年4月> 博士(医学)	松下 太 (54) <令和4年4月> 博士(医学)	松下 太 (55) <令和4年4月> 博士(医学)			松下 太 (56) <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎ゼミナール IPW論 職場管理(教育を含む) 職業倫理 作業療法評価学総論 身体障害作業療法評価学 高齢期障害作業療法治療学総論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習	基礎ゼミナール IPW論 職場管理(教育を含む) 職業倫理 作業療法評価学総論 身体障害作業療法評価学 高齢期障害作業療法治療学総論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習	基礎ゼミナール IPW論 職場管理(教育を含む) 職業倫理 作業療法評価学総論 身体障害作業療法評価学 高齢期障害作業療法治療学総論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール チーム医療見学実習 医療コミュニケーション IPW論 リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む) 職場管理(教育を含む) 職業倫理 作業療法評価学総論 身体障害作業療法評価学 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 総合リハビリテーションIPW演習 高齢期リハビリテーション概論 高齢期リハビリテーション演習 高齢期リハビリテーション特論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習

専	教授	橋本 弘子 (60) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	橋本 弘子 (61) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	橋本 弘子 (62) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	橋本 弘子 (63) <令和4年4月> 博士(保健学)
		基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 チームリハビリテーション概論 基礎作業学 作業科学入門 作業療法評価学総論 精神障害作業療法評価学 精神障害作業療法治療学総論 精神障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 精神障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(精神障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 チームリハビリテーション概論 基礎作業学 作業科学入門 作業療法評価学総論 精神障害作業療法評価学 精神障害作業療法治療学総論 精神障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 精神障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(精神障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 チームリハビリテーション概論 基礎作業学 作業科学入門 作業療法評価学総論 精神障害作業療法評価学 精神障害作業療法治療学総論 精神障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 精神障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(精神障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 チームリハビリテーション概論 基礎作業学 作業科学入門 作業療法評価学総論 精神障害作業療法評価学 精神障害作業療法治療学総論 精神障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 精神障害作業療法治療学演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(精神障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授	由利(辻田) 祿巳 (56) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	由利(辻田) 祿巳 (57) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	由利(辻田) 祿巳 (58) <令和4年4月> 博士(保健学)	専	教授	由利(辻田) 祿巳 (59) <令和4年4月> 博士(保健学)
		基礎ゼミナール IPW論 リハビリテーション概論 作業科学入門 高齢期障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 高齢期障害作業療法治療学演習 地域作業療法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール IPW論 リハビリテーション概論 作業科学入門 高齢期障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 高齢期障害作業療法治療学演習 地域作業療法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール IPW論 リハビリテーション概論 作業科学入門 高齢期障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 高齢期障害作業療法治療学演習 地域作業療法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール IPW論 リハビリテーション概論 作業科学入門 高齢期障害作業療法治療学各論 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 高齢期障害作業療法治療学演習 地域作業療法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(高齢期障害・地域) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習
専	教授		専	教授		専	教授	田丸 佳希 (41) <令和5年4月> 博士(保健学)	専	教授	田丸 佳希 (42) <令和5年4月> 博士(保健学)
		基礎ゼミナール チーム医療見学実習 IPW論 基礎運動学 臨床運動学 作業療法概論 日常生活活動学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 義肢装具学 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 総合リハビリテーションIPW演習 生活環境論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習			基礎ゼミナール チーム医療見学実習 IPW論 基礎運動学 臨床運動学 リハビリテーション概論 作業療法概論 日常生活活動学 身体障害作業療法治療学総論 身体障害作業療法治療学各論 義肢装具学 作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 身体障害作業療法治療学演習 総合リハビリテーションIPW演習 生活環境論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ(身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習						

兼任	教授	阿部 秀高 (50) <令和4年4月> 修士 (学校教育学) 基礎ゼミナール
兼任	教授	安部 辰夫 (56) <令和4年4月> 博士 (医学) 生物学 化学 病理学
兼任	教授	井手口 範男 (50) <令和4年4月> 修士 (人間科学) 統計学
兼任	教授	藤重 (中嶋) 仁子 (49) <令和4年4月> 博士 (言語文化学) 英語 I (初級) 英語 II (中級) 英会話 基礎英語演習 応用英語演習

		<p>鏡野 将平 (33) <令和4年4月> 学士 (作業療法学)</p> <p>MBS (Morinomiya Basic Seminar) リハビリテーション概論 基礎作業学 作業療法評価学総論 身体障害作業療法評価学 高齢期障害作業療法治療学総論 高齢期障害作業療法治療学各論 高齢期障害作業療法治療学演習 総合リハビリテーションIPW演習 障害者地域生活支援論</p>
兼任	教授	阿部 秀高 (51) <令和4年4月> 修士 (学校教育学) 基礎ゼミナール
兼任	教授	安部 辰夫 (57) <令和4年4月> 博士 (医学) 生物学 化学 病理学
兼任	教授	井手口 範男 (51) <令和4年4月> 修士 (人間科学) 統計学
兼任	教授	藤重 (中嶋) 仁子 (50) <令和4年4月> 博士 (言語文化学) 英語 I (初級) 英語 II (中級) 英会話 基礎英語演習 応用英語演習

		<p>鏡野 将平 (34) <令和4年4月> 修士 (保健学)</p> <p>基礎ゼミナール MBS (Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 IPW論 リハビリテーション概論 基礎作業学 作業療法評価学総論 身体障害作業療法評価学 高齢期障害作業療法治療学総論 高齢期障害作業療法治療学各論 作業療法特論 I 作業療法特論 II 高齢期障害作業療法治療学演習 総合リハビリテーションIPW演習 障害者地域生活支援論 卒業研究 I 卒業研究 II (身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習</p>
兼任	教授	<p>青木 元邦 (58) <令和5年4月> 博士 (医学)</p> <p>臨床病態学Ⅲ</p>
兼任	教授	阿部 秀高 (52) <令和4年4月> 修士 (学校教育学) 基礎ゼミナール
兼任	教授	安部 辰夫 (58) <令和4年4月> 博士 (医学) 生物学 化学 病理学
兼任	教授	井手口 範男 (52) <令和4年4月> 修士 (人間科学) 統計学
兼任	教授	藤重 (中嶋) 仁子 (51) <令和4年4月> 博士 (言語文化学) 英語 I (初級)- 英語 II (中級)- 英会話 医学英語 基礎英語演習 応用英語演習

		<p>鏡野 将平 (35) <令和4年4月> 修士 (保健学)</p> <p>基礎ゼミナール MBS (Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 IPW論 リハビリテーション概論 基礎作業学 作業療法評価学総論 身体障害作業療法評価学 高齢期障害作業療法治療学総論 高齢期障害作業療法治療学各論 作業療法特論 I 作業療法特論 II 高齢期障害作業療法治療学演習 総合リハビリテーションIPW演習 障害者地域生活支援論 卒業研究 I 卒業研究 II (身体障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習</p>
専	助教	<p>勝原 勇希 (35) <令和6年4月> 修士 (臨床教育学)</p> <p>IPW論 発達障害作業療法評価学 日常生活活動学 発達障害作業療法治療学総論 発達障害作業療法治療学各論 作業療法特論 I 作業療法特論 II 発達障害作業療法治療学演習 生活環境論 障害者地域生活支援論 卒業研究 I 卒業研究 II (発達障害) 臨地見学実習 臨床検査実習 地域作業療法実習 臨床評価実習 臨床総合実習</p>
兼任	教授	<p>青木 元邦 (59) <令和5年4月> 博士 (医学)</p> <p>臨床病態学Ⅲ</p>
兼任	教授	阿部 秀高 (53) <令和4年4月> 修士 (学校教育学) 基礎ゼミナール
兼任	教授	安部 辰夫 (59) <令和4年4月> 博士 (医学) 生物学 化学 病理学
兼任	教授	井手口 範男 (53) <令和4年4月> 修士 (人間科学) 統計学
兼任	教授	藤重 (中嶋) 仁子 (52) <令和4年4月> 博士 (言語文化学) 英語 I (初級) 英語 II (中級) 英会話 医学英語 基礎英語演習 応用英語演習

兼任	教授	中原 英博 (46) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中原 英博 (47) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中原 英博 (48) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中原 英博 (49) <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ			基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ			基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ			基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ
兼任	教授	中根 征也 (44) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	教授	中根 征也 (45) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	教授	中根 征也 (46) <令和4年4月> 修士(学術)			
		身体運動科学			身体運動科学			チーム医療論 身体運動科学 チームリハビリテーション概論 総合リハビリテーションIPW演習			
兼任	教授	山下 仁 (56) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山下 仁 (57) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山下 仁 (58) <令和4年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	山下 仁 (59) <令和4年4月> 博士(保健学)
		統合医療概論			統合医療概論			MBS(Morinomiya Basic Seminar) 統合医療概論			MBS(Morinomiya Basic Seminar) 統合医療概論
兼任	教授	森 美侑紀(広子) (56) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	森 美侑紀(広子) (57) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	森 美侑紀(広子) (58) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	森 美侑紀(広子) (59) <令和4年4月> 博士(医学)
		統合医療概論			統合医療概論			統合医療概論			統合医療概論
兼任	教授	北村 清一郎 (70) <令和4年4月> 博士(歯学)									
		人体の構造演習Ⅰ(運動器) 人体の構造演習Ⅱ(運動器)									
兼任	教授	森谷 正之 (57) <令和4年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	森谷 正之 (58) <令和4年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	森谷 正之 (59) <令和4年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	森谷 正之 (60) <令和4年4月> 博士(歯学)
		人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓)			人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓)			人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓)			人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓)
兼任	教授	川畑 浩久 (54) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川畑 浩久 (55) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川畑 浩久 (56) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川畑 浩久 (57) <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の構造実習 スポーツ医学			人体の構造実習 スポーツ医学			人体の構造実習 スポーツ医学			人体の構造実習 スポーツ医学
兼任	教授	五十嵐 淳介 (53) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	五十嵐 淳介 (54) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	五十嵐 淳介 (55) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	五十嵐 淳介 (56) <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ			人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ			人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ			人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ
兼任	教授	前川 佳敬 (50) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	前川 佳敬 (51) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	前川 佳敬 (52) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	前川 佳敬 (53) <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ			臨床病態学Ⅲ			MBS(Morinomiya Basic Seminar) 臨床病態学Ⅲ			MBS(Morinomiya Basic Seminar) 臨床病態学Ⅲ チーム医療論
兼任	教授	松崎 伸介 (45) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	松崎 伸介 (46) <令和4年4月> 博士(医学)						
		臨床病態学Ⅲ			臨床病態学Ⅲ						
兼任	教授	吉岡 敏治 (74) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	吉岡 敏治 (75) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	吉岡 敏治 (76) <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	教授	吉岡 敏治 (77) <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ			臨床病態学Ⅲ			臨床病態学Ⅲ スポーツ医学			臨床病態学Ⅲ スポーツ医学

兼担	教授	堀 竜次 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		チームリハビリテーション概論
兼担	教授	金尾 顕郎 (66) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		チームリハビリテーション概論

兼担	教授	堀 竜次 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		チームリハビリテーション概論
兼担	教授	金尾 顕郎 (67) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		チームリハビリテーション概論

兼担	教授	堀 竜次 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		チームリハビリテーション概論
兼担	教授	吉村 弥須子 (59) ＜令和5年4月＞ 博士（看護学）
		チーム医療論
兼担	教授	升田 寿賀子 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		チーム医療論
兼担	教授	外村 昌子 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（医療科学）
		チーム医療論
兼担	教授	小宮山 恭弘 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（生活科学）
		チーム医療論
兼担	教授	脳 英彦 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		チーム医療論
兼担	教授	奥村 雅彦 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（医療技術学）
		チーム医療論
兼担	教授	西浦 素子 (60) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		チーム医療論
兼担	教授	山本 浩一 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		チーム医療論
兼担	教授	三木屋 良輔 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（医科学）
		チームリハビリテーション概論

兼担	教授	吉村 弥須子 (60) ＜令和5年4月＞ 博士（看護学）
		チーム医療論
兼担	教授	升田 寿賀子 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		チーム医療論
兼担	教授	外村 昌子 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（医療科学）
		チーム医療論
兼担	教授	小宮山 恭弘 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（生活科学）
		チーム医療論
兼担	教授	脳 英彦 (65) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		チーム医療論
兼担	教授	奥村 雅彦 (65) ＜令和5年4月＞ 博士（医療技術学）
		チーム医療論
兼担	教授	西浦 素子 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		チーム医療論
兼担	教授	山本 浩一 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（保健学）
		チーム医療論
兼担	教授	三木屋 良輔 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（医科学）
		チームリハビリテーション概論

兼担	准教授	前田 薫 (43) <令和4年4月> 博士(医学)	兼担	准教授	前田 薫 (44) <令和4年4月> 博士(医学)						
		リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む)			リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む)						
兼担	講師	長尾 晋宏 (43) <令和4年4月> 修士(文学)	兼担	講師	長尾 晋宏 (44) <令和4年4月> 修士(文学)	兼担	講師	国宗 翔 (35) <令和5年4月> 博士(学術)	兼担	講師	国宗 翔 (36) <令和5年4月> 博士(学術)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語			英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語			チーム医療論 総合リハビリテーションIPW演習			チーム医療論 総合リハビリテーションIPW演習
兼担	講師	佐野 加奈絵 (35) <令和4年4月> 博士(スポーツ科学)	兼担	講師	佐野 加奈絵 (36) <令和4年4月> 博士(スポーツ科学)	兼担	講師	西原 かおり (60) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼担	講師	西原 かおり (61) <令和5年4月> 修士(看護学)
		基礎体育 健康科学(スポーツ社会学を含む)			基礎体育 健康科学(スポーツ社会学を含む)			チーム医療論			チーム医療論
兼担	講師	杉本 圭 (35) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (36) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	関根 将 (32) <令和5年4月> 修士(人間健康科学)	兼担	講師	関根 将 (33) <令和5年4月> 修士(人間健康科学)
		身体運動科学			身体運動科学			チーム医療論			チーム医療論
兼担	講師	杉本 圭 (35) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (36) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	大久保 さやか (42) <令和5年4月> 修士(応用情報科学)	兼担	講師	大久保 さやか (43) <令和5年4月> 修士(応用情報科学)
		身体運動科学			身体運動科学			チーム医療論			チーム医療論
兼担	講師	杉本 圭 (35) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (36) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	小田 啓之 (41) <令和5年4月> 博士(スポーツ科学)	兼担	講師	小田 啓之 (42) <令和5年4月> 博士(スポーツ科学)
		身体運動科学			身体運動科学			健康科学(スポーツ社会学を含む)			基礎体育 健康科学(スポーツ社会学を含む)
兼担	講師	杉本 圭 (35) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (36) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (37) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (38) <令和4年4月> 修士(学術)
		身体運動科学			身体運動科学			身体運動科学			身体運動科学
兼担	講師	杉本 圭 (35) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (36) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	辻 涼太 (41) <令和5年4月> 修士(保健医療学)	兼担	講師	辻 涼太 (42) <令和5年4月> 修士(保健医療学)
		身体運動科学			身体運動科学			東洋医療概論			東洋医療概論
兼担	講師	杉本 圭 (35) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	杉本 圭 (36) <令和4年4月> 修士(学術)	兼担	講師	竹下 ひかり (35) <令和5年4月> 博士(医学)	兼担	講師	竹下 ひかり (36) <令和5年4月> 博士(医学)
		身体運動科学			身体運動科学			人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 病理学			人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 病理学

兼任	助教	信江 彩加 (32) <令和4年4月> 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育
兼任	助教	松尾 浩希 (32) <令和4年4月> 修士 (教育学)
		身体運動科学
兼任	助教	信太 宗也 (36) <令和4年4月> 博士 (工学)
		情報処理
兼任	助教	伊奈 新太郎 (45) <令和4年4月> 修士 (体育学)
		基礎体育

兼任	助教	信江 彩加 (33) <令和4年4月> 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育
兼任	助教	松尾 浩希 (33) <令和4年4月> 修士 (教育学)
		身体運動科学
兼任	助教	堤 真大 (34) <令和4年4月> 博士 (医学)
		人体の構造演習Ⅰ (運動器) 人体の構造演習Ⅱ (運動器)
兼任	助教	佐久間 俊 (31) <令和4年4月> 博士 (応用情報科学)
		情報処理
兼任	助教	伊奈 新太郎 (46) <令和4年4月> 修士 (体育学)
		基礎体育

兼任	講師	信江 彩加 (34) <令和4年4月> 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育
兼任	講師	松尾 浩希 (34) <令和4年4月> 修士 (教育学)
		身体運動科学
兼任	講師	堤 真大 (34) <令和4年4月> 博士 (医学)
		人体の構造演習Ⅰ (運動器) 人体の構造演習Ⅱ (運動器)
兼任	助教	大橋 明日香 (33) <令和5年4月> 修士 (保健学)
		チーム医療論
兼任	助教	佐久間 俊 (32) <令和4年4月> 博士 (応用情報科学)
		情報処理
兼任	助教	伊奈 新太郎 (47) <令和4年4月> 修士 (体育学)
		基礎体育

兼任	講師	信江 彩加 (35) <令和4年4月> 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育
兼任	講師	堤 真大 (35) <令和4年4月> 博士 (医学)
		人体の構造演習Ⅰ (運動器) 人体の構造演習Ⅱ (運動器)
兼任	講師	中村 有希 (37) <令和6年4月> 博士 (工学)
		リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む)
兼任	講師	芝 さやか (36) <令和6年4月> 修士 (保健医療学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	講師	鮎澤 俊平 (43) <令和6年4月> 修士 (Family and Consumer Sciences Family Studies (米 国))
		チームリハビリテーション概論
兼任	助教	大橋 明日香 (34) <令和5年4月> 修士 (保健学)
		チーム医療論
兼任	助教	佐久間 俊 (33) <令和4年4月> 博士 (応用情報科学)
		情報処理
兼任	助教	伊奈 新太郎 (48) <令和4年4月> 修士 (体育学)
		基礎体育
兼任	助教	林 真太郎 (38) <令和6年4月> 修士 (保健医療学)
		総合リハビリテーションIPW演習

兼任	講師	久国 正章 (48) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		物理学
兼任	講師	神澤 創 (65) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		心理学 臨床心理学
兼任	講師	日高 明 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		生命倫理学
兼任	講師	松枝 啓至 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	掛川 直之 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(創造都市)
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 (67) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ (43) ＜令和4年4月＞ 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	南方 克之 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		栄養学 生化学

兼任	講師	久国 正章 (49) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		物理学
兼任	講師	神澤 創 (66) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		心理学 臨床心理学
兼任	講師	日高 明 (40) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		生命倫理学
兼任	講師	松枝 啓至 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	掛川 直之 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(創造都市)
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 (68) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ (44) ＜令和4年4月＞ 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	南方 克之 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		栄養学 生化学

兼任	講師	久国 正章 (50) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		物理学
兼任	講師	神澤 創 (67) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		心理学 臨床心理学
兼任	講師	日高 明 (41) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		生命倫理学
兼任	講師	中元 洸太 (29) ＜令和5年4月＞ 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	掛川 直之 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(創造都市)
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 (69) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ (45) ＜令和4年4月＞ 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	竹内 恵子 (76) ＜令和5年4月＞ 修士(英文学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級)
兼任	講師	Corinne Pitt (38) ＜令和5年4月＞ 学士(文学)
		英会話
兼任	講師	伊黒 浩二 (49) ＜令和5年4月＞ 修士(健康科学)
		健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ
兼任	講師	南方 克之 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		栄養学 生化学

兼任	講師	久国 正章 (51) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		物理学
兼任	講師	神澤 創 (68) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		心理学 臨床心理学
兼任	講師	中元 洸太 (30) ＜令和5年4月＞ 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	植田 重幸 (70) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ (46) ＜令和4年4月＞ 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	Corinne Pitt (39) ＜令和5年4月＞ 学士(文学)
		英会話
兼任	講師	伊黒 浩二 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(健康科学)
		健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ
兼任	講師	南方 克之 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		栄養学 生化学

兼任	講師	今村 行雄 (50) <令和4年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	今村 行雄 (51) <令和4年4月> 博士 (医学)						
		公衆衛生学			公衆衛生学						
兼任	講師	宮田 重樹 (62) <令和4年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	宮田 重樹 (63) <令和4年4月> 博士 (医学)						
		整形外科学			整形外科学						
兼任	講師	正木 慶大 (46) <令和4年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	正木 慶大 (47) <令和4年4月> 博士 (医学)						
		精神医学 精神医学各論			精神医学 精神医学各論						
兼任	講師	李 庸吉 (56) <令和4年4月> 博士 (法学)	兼任	講師	李 庸吉 (57) <令和4年4月> 博士 (法学)						
		医療関係法規論			医療関係法規論						
兼任	講師	渋谷 静英 (56) <令和4年4月> 修士 (教育学)	兼任	講師	渋谷 静英 (57) <令和4年4月> 修士 (教育学)						
		チームリハビリテーション概論			チームリハビリテーション概論						
兼任	講師	戸名(井下) 久美子 (54) <令和4年4月> 修士 (人間科学)	兼任	講師	戸名(井下) 久美子 (55) <令和4年4月> 修士 (人間科学)						
		チームリハビリテーション概論			チームリハビリテーション概論						
兼任	教授	上田 喜敏 (65) <令和4年4月> 博士 (工学)	兼任	教授	上田 喜敏 (66) <令和4年4月> 博士 (工学)						
		介護学概論・ボランティア活動論			介護学概論・ボランティア活動論						
									兼任	講師	田中 美子 (52) <令和6年4月> 修士 (工学)
											生命倫理学
									兼任	講師	伊東 香純 (32) <令和6年4月> 博士 (学術)
											社会福祉学
									兼任	講師	田中 友理 (59) <令和6年4月> 修士 (文学)
											英語 I (初級) 英語 II (中級)
									兼任	講師	伊藤 (茂原) 直子 (65) <令和6年4月> 修士 (リハビリテーション科学)
											小児科学 (人間発達学)

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号 (その2の1) に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て (兼任、兼担教員を含む。) を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任 (専門職大学等は専、実専、実 (研)、実担、兼任の順に記入してください)。
・ 不要な年度 (令和5年度開設であれば令和4年度以前) の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム (新カリキュラム) の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム (旧カリキュラム) の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・昇任人事により助教から講師へ変更
金森 幸（専任）
- ・令和4年4月より以下の専任教員が就任
兼田 敏克講師、鍵野 将平助教
- ・令和4年4月より以下の兼任教員が就任
佐久間 俊助教、堤 真大助教、
- ・北村 清一郎教授(兼任)退職のため堤 真大助教(兼任)が「人体の構造演習Ⅰ(運動器)」、「人体の構造演習Ⅱ(運動器)」を担当。
- ・信太 宗也助教(兼任)退職のため佐久間 俊助教(兼任)が「情報処理」を担当。

【令和5年度】

・令和5年4月より以下の専任教員が就任

田丸 佳希教授

- ・一身上の都合により小林 貴代（専任）教授 退職
- ・一身上の都合により佐野 加奈絵（兼任）講師 退職
- ・一身上の都合により松枝 啓至（兼任）講師 辞退
- ・一身上の都合により今村 行雄（兼任）講師 辞退

・令和5年度4月より以下の兼任・兼任教員が就任

青木 元邦（兼任）教授、吉村 弥須子（兼任）教授、升田 寿賀子（兼任）教授、外村（兼任）教授、小宮山 恭弘（兼任）教授、脇 英彦（兼任）教授、奥村 雅彦（兼任）教授、西浦 素子（兼任）教授、山本 浩一（兼任）教授、三木屋 良輔（兼任）教授、辻 義弘（兼任）教授、角田 晃啓（兼任）准教授、岩佐 由美（兼任）准教授、藤江 建朗（兼任）准教授、西垣 孝行（兼任）准教授、国宗 翔（兼任）講師、西原 かおり（兼任）講師、関根 将（兼任）講師、大久保 さやか（兼任）講師、小田 啓之（兼任）講師、辻 涼太（兼任）講師、竹下 ひかり（兼任）講師、大橋 明日香（兼任）助教、中元 洸太（兼任）講師、竹内 恵子（兼任）講師、Corinne Pitt（兼任）講師、伊黒 浩二（兼任）講師、下笠 敬紀（兼任）講師

- ・昇任人事により小川 泰弘（専任）講師の職位を准教授に変更
- ・昇任人事により東 泰弘（専任）講師の職位を准教授に変更
- ・昇任人事により信江 彩加（兼任）助教の職位を講師に変更
- ・昇任人事により松尾 浩希（兼任）助教の職位を講師に変更
- ・昇任人事により堤 真大（兼任）助教の職位を講師に変更

- ・科目担当の見直しにより伊藤（茂原）直子（専任）教授の科目を2科目（チーム医療見学実習、リハビリテーション概論）を追加
- ・科目担当の見直しにより松下 太（専任）教授の科目を3科目（チーム医療見学実習、医療コミュニケーション、リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む））を追加
- ・科目担当の見直しにより前田 薫（兼任）准教授の科目を1科目（リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む））を削除
- ・科目担当の見直しにより松下 太（専任）教授の科目を1科目（身体障害作業療法評価学）を削除
- ・科目担当の見直しにより橋本 弘子（専任）教授の科目を2科目（医療コミュニケーション、チーム医療論）を削除
- ・科目担当の見直しにより由利（辻田）裕巳（専任）教授の科目を3科目（チーム医療見学実習、チーム医療論、基礎作業学）を追加
- ・科目担当の見直しにより田丸 佳希（専任）教授の科目を22科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、IPW論、基礎運動学、臨床運動学、作業療法概論、日常生活活動学、身体障害作業療法治療学総論、身体障害作業療法治療学各論、義肢装具学、作業療法特論Ⅰ、作業療法特論Ⅱ、身体障害作業療法治療学演習、総合リハビリテーションIPW演習、生活環境論、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ（身体障害）、臨地見学実習、臨床検査実習、地域作業療法実習、臨床評価実習、臨床総合実習）を追加
- ・科目担当の見直しにより小川 泰弘（専任）准教授の科目を2科目（チームリハビリテーション概論、障害者地域生活支援論）を追加
- ・科目担当の見直しにより小川 泰弘（専任）准教授の科目を1科目（MBS(Morinomiya Basic Seminar)）を削除
- ・科目担当の見直しにより東 泰弘（専任）准教授の科目を1科目（チーム医療見学実習）を追加
- ・科目担当の見直しにより中村 めぐみ（専任）講師の科目を1科目（チーム医療見学実習）を追加
- ・科目担当の見直しにより中村 めぐみ（専任）講師の科目を1科目（基礎作業学）を削除
- ・科目担当の見直しにより中西 一（専任）講師の科目を1科目（チーム医療見学実習）を追加
- ・科目担当の見直しにより中西 一（専任）講師の科目を1科目（身体障害作業療法評価学）を削除
- ・科目担当の見直しにより金森 幸（専任）講師の科目を2科目（チーム医療見学実習、リハビリテーション概論）を追加
- ・科目担当の見直しにより金森 幸（専任）講師の科目を1科目（基礎作業学）を削除
- ・科目担当の見直しにより兼田 敏克（専任）講師の科目を6科目（基礎ゼミナール、臨地見学実習、臨床検査実習、地域作業療法実習、臨床評価実習、臨床総合実習）を追加
- ・科目担当の見直しにより鍵野 将平（専任）助教の科目を12科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、IPW論、作業療法特論Ⅰ、作業療法特論Ⅱ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ（身体障害）、臨地見学実習、臨床検査実習、地域作業療法実習、臨床評価実習、臨床総合実習）を追加
- ・科目担当の見直しにより鍵野 将平（専任）助教の科目を1科目（高齢期障害作業療法治療学総論）を削除
- ・科目担当の見直しにより青木 元邦（兼任）教授の科目を1科目（臨床病態Ⅲ）を追加
- ・科目担当の見直しにより松崎 伸介（兼任）教授の科目を1科目（臨床病態Ⅲ）を削除
- ・科目担当の見直しにより安部 辰夫（兼任）教授の科目を1科目（病理学）を削除
- ・科目担当の見直しにより藤重（中嶋）仁子（兼任）教授の科目を1科目（医学英語）を追加
- ・科目担当の見直しにより藤重（中嶋）仁子（兼任）教授の科目を3科目（英語Ⅰ（初級）、英語Ⅱ（中級）、英会話）を削除
- ・科目担当の見直しにより中根 征也（兼任）教授の科目を2科目（健康管理学Ⅰ、健康管理学Ⅱ）を削除
- ・科目担当の見直しにより中根 征也（兼任）教授の科目を3科目（チーム医療論、チームリハビリテーション概論、総合リハビリテーションIPW演習）を追加
- ・科目担当の見直しにより金尾 顕郎（兼任）教授の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）を削除
- ・科目担当の見直しにより中根 征也（兼任）教授の科目を1科目（MBS(Morinomiya Basic Seminar)）を追加
- ・科目担当の見直しにより山下 仁（兼任）教授の科目を1科目（MBS(Morinomiya Basic Seminar)）を追加
- ・科目担当の見直しにより五十嵐 淳介（兼任）教授の科目を2科目（人体の機能Ⅰ（動物性機能）、人体の機能Ⅱ（植物性機能））を削除
- ・科目担当の見直しにより前川 佳敬（兼任）教授の科目を1科目（MBS(Morinomiya Basic Seminar)）を追加
- ・科目担当の見直しにより前川 佳敬（兼任）教授の科目を1科目（臨床病態Ⅲ）を削除
- ・科目担当の見直しにより吉岡 敏治（兼任）教授の科目を1科目（スポーツ医学）を追加
- ・科目担当の見直しにより吉岡 敏治（兼任）教授の科目を1科目（臨床病態Ⅲ）を削除
- ・科目担当の見直しにより吉村 弥須子（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより升田 寿賀子（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより外村 昌子（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより小宮山 恭弘（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより脇 英彦（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより奥村 雅彦（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより西浦 素子（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより山本 浩一（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより三木屋 良輔（兼任）教授の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）を追加
- ・科目担当の見直しにより辻 義弘（兼任）教授の科目を2科目（身体障害作業療法治療学各論、身体障害作業療法治療学演習）を追加
- ・科目担当の見直しにより増山 祥子（兼任）准教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより角田 晃啓（兼任）准教授の科目を2科目（チーム医療論、総合リハビリテーションIPW演習）を追加
- ・科目担当の見直しにより岩佐 由美（兼任）准教授の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより藤江 建朗（兼任）准教授の科目を3科目（チーム医療論、身体障害作業療法治療学各論、身体障害作業療法治療学演習）を追加
- ・科目担当の見直しにより西垣 孝行（兼任）准教授の科目を2科目（身体障害作業療法治療学各論、身体障害作業療法治療学演習）を追加
- ・科目担当の見直しにより国宗 翔（兼任）講師の科目を2科目（チーム医療論、総合リハビリテーションIPW演習）を追加
- ・科目担当の見直しにより西原 かおり（兼任）講師の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより長尾 晋宏（兼任）講師の科目を1科目（医学英語）を削除
- ・科目担当の見直しにより関根 将（兼任）講師の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより大久保 さやか（兼任）講師の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより小田 啓之（兼任）講師の科目を1科目（健康科学（スポーツ社会学を含む））を追加
- ・科目担当の見直しにより辻 涼太（兼任）講師の科目を1科目（東洋医療概論）を追加
- ・科目担当の見直しにより横山 浩之（兼任）准教授の科目を1科目（東洋医療概論）を削除
- ・科目担当の見直しにより竹下 ひかり（兼任）講師の科目を3科目（人体の機能Ⅰ（動物性機能）、人体の機能Ⅱ（植物性機能）、病理学）を追加
- ・科目担当の見直しにより大橋 明日香（兼任）助教の科目を1科目（チーム医療論）を追加
- ・科目担当の見直しにより中元 洸太（兼任）講師の科目を2科目（哲学、西洋史概説）を追加
- ・科目担当の見直しにより竹内 恵子（兼任）講師の科目を2科目（英語Ⅰ（初級）、英語Ⅱ（中級））を追加
- ・科目担当の見直しによりCorinne Pitt（兼任）講師の科目を1科目（英会話）を追加
- ・科目担当の見直しにより伊黒 浩二（兼任）講師の科目を2科目（健康管理学Ⅰ、健康管理学Ⅱ）を追加
- ・科目担当の見直しにより下笠 敬紀（兼任）講師の科目を1科目（公衆衛生学）を追加

【令和6年度】

- ・一身上の都合により伊藤（茂原）直子（専任）教授 退職
- ・一身上の都合により中根 征也（兼任）教授 退職のため就任辞退
- ・一身上の都合により堀 竜次（兼任）教授 就任辞退
- ・一身上の都合により西垣 孝行（兼任）准教授 退職のため就任辞退
- ・一身上の都合により松尾 浩希（兼任）講師 就任辞退
- ・一身上の都合により日高 明（兼任）講師 就任辞退
- ・一身上の都合により掛川 直之（兼任）講師 就任辞退
- ・一身上の都合により竹内 恵子（兼任）講師 就任辞退
- ・一身上の都合により渋谷 静英（兼任）講師 就任辞退
- ・一身上の都合により戸名（井下）久美子（兼任）講師 就任辞退
- ・令和6年4月より以下の専任教員が就任
勝原 勇希助教
- ・令和6年度4月より以下の兼任・兼任教員が就任
中谷 謙（兼任）教授、前田 留美子（兼任）教授、高木 悠哉（兼任）准教授、南都 智紀（兼任）准教授、中村 有希（兼任）講師、芝 さやか（兼任）講師、鮎澤 俊平（兼任）講師、林 真太郎（兼任）助教、田中 美子（兼任）講師、伊東 香純（兼任）講師、田中 友理（兼任）講師、伊藤（茂原）直子（兼任）講師
- ・昇任人事により講師から准教授へ変更
兼田 敏克（専任）
- ・昇任人事により准教授から教授に変更
角田 晃啓（兼任）、藤江 建朗（兼任）
- ・科目担当者の見直しにより伊藤（茂原）直子（専任）教授の科目を20科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、IPW論、リハビリテーション概論、小児科学（人間発達学）、作業療法概論、発達障害作業療法評価学、発達障害作業療法治療学総論、発達障害作業療法治療学各論、作業療法特論Ⅰ、作業療法特論Ⅱ、発達障害作業療法治療学演習、障害者地域生活支援論、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ（発達障害）、臨床見学実習、臨床検査実習、地域作業療法実習、臨床評価実習、臨床総合実習）削除
- ・科目設置により松下 太（専任）教授の科目を3科目（高齢期リハビリテーション概論、高齢期リハビリテーション演習、高齢期リハビリテーション特論）追加
- ・科目担当者の見直しにより松下 太（専任）教授の科目を2科目（チーム医療見学実習、作業療法特論Ⅱ）削除
- ・科目担当者の見直しにより橋本 弘子（専任）教授の科目を4科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、精神障害作業療法治療学各論、作業療法特論Ⅱ）削除
- ・科目担当者の見直しにより由利（辻田）祿巳（専任）教授の科目を4科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、作業科学入門、作業療法特論Ⅱ）削除
- ・科目担当者の見直しにより田丸 佳希（専任）教授の科目を1科目（リハビリテーション概論）追加
- ・科目担当者の見直しにより田丸 佳希（専任）教授の科目を7科目（チーム医療見学実習、IPW論、日常生活活動学、身体障害作業療法治療学総論、作業療法特論Ⅱ、身体障害作業療法治療学演習、生活環境論）削除
- ・科目担当者の見直しにより小川 泰弘（専任）准教授の科目を1科目（リハビリテーション概論）を追加
- ・科目設置により小川 泰弘（専任）准教授の科目を3科目（精神・心理リハビリテーション概論、精神・心理リハビリテーション演習、精神・心理リハビリテーション特論）を追加
- ・科目担当者の見直しにより小川 泰弘（専任）准教授の科目を5科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、チームリハビリテーション概論、作業科学入門、作業療法評価学総論）削除
- ・科目担当者の見直しにより東 泰弘（専任）准教授の科目を4科目（リハビリテーション概論、リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む）、作業科学入門、高次脳機能障害作業療法評価学）追加
- ・科目担当者の見直しにより東 泰弘（専任）准教授の科目を6科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、基礎運動学、臨床運動学、身体障害作業療法治療学各論、作業療法特論Ⅱ）削除
- ・科目担当者の見直しにより兼田 敏克（専任）准教授の科目を2科目（高齢期障害作業療法治療学各論、高齢期障害作業療法治療学演習）追加
- ・科目担当者の見直しにより兼田 敏克（専任）准教授の科目を8科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、リハビリテーション概論、高次脳機能障害作業療法評価学、身体障害作業療法治療学総論、身体障害作業療法治療学各論、義肢装具学、作業療法特論Ⅱ）削除
- ・科目担当者の見直しにより中村 めぐみ（専任）講師の科目を1科目（リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む））追加
- ・科目担当者の見直しにより中村 めぐみ（専任）講師の科目を2科目（チーム医療見学実習、身体障害作業療法治療学各論）削除
- ・科目担当者の見直しにより中西 一（専任）講師の科目を1科目（身体障害作業療法評価学）追加
- ・科目担当者の見直しにより中西 一（専任）講師の科目を4科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、身体障害作業療法治療学総論、高次脳機能障害作業療法評価学）削除
- ・科目設置により金森 幸（専任）講師の科目を3科目（小児リハビリテーション概論、小児リハビリテーション演習、小児リハビリテーション特論）追加
- ・科目担当者の見直しにより金森 幸（専任）講師の科目を3科目（基礎ゼミナール、チームリハビリテーション概論、作業療法特論Ⅱ）削除
- ・科目担当者の見直しにより鍵野 将平（専任）助教の科目を7科目（基礎ゼミナール、チーム医療見学実習、IPW論、リハビリテーション概論、高齢期障害作業療法治療学各論、作業療法特論Ⅱ、高齢期障害作業療法治療学演習）削除
- ・科目担当者の見直しにより勝原 勇希（専任）助教の科目を17科目（IPW論、発達障害作業療法評価学、日常生活活動学、発達障害作業療法治療学総論、発達障害作業療法治療学各論、作業療法特論Ⅰ、作業療法特論Ⅱ、発達障害作業療法治療学演習、生活環境論、障害者地域生活支援論、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ（発達障害）、臨床見学実習、臨床検査実習、地域作業療法実習、臨床評価実習、臨床総合実習）追加
- ・科目担当者の見直しにより藤重（中嶋）仁子（兼任）教授の科目を1科目（基礎英語演習）削除
- ・科目担当者の見直しにより中根 征也（兼任）教授の科目を4科目（チーム医療論、身体運動科学、チームリハビリテーション概論、総合リハビリテーションIPW演習）削除
- ・科目担当者の見直しにより山下 仁（兼任）教授の科目を1科目（MBS(Morinomiya Basic Seminar)）削除
- ・科目担当者の見直しにより前川 佳敬（兼任）教授の科目を1科目（チーム医療論）追加
- ・科目担当者の見直しにより堀 竜次（兼任）教授の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）削除
- ・科目担当者の見直しにより辻 義弘（兼任）教授の科目を1科目（リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む））追加
- ・科目担当者の見直しにより辻 義弘（兼任）教授の科目を2科目（身体障害作業療法治療学各論、身体障害作業療法治療学演習）削除
- ・科目担当者の見直しにより中谷 謙（兼任）教授の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）追加
- ・科目担当者の見直しにより前田 留美子（兼任）教授の科目を1科目（リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む））追加
- ・科目担当者の見直しにより藤江 建朗（兼任）教授の科目を1科目（リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む））追加
- ・科目担当者の見直しにより藤江 建朗（兼任）教授の科目を2科目（身体障害作業療法治療学各論、身体障害作業療法治療学演習）削除
- ・科目担当者の見直しにより高木 悠哉（兼任）准教授の科目を1科目（基礎ゼミナール）追加
- ・科目担当者の見直しにより南都 智紀（兼任）准教授の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）追加
- ・科目担当者の見直しにより西垣 孝行（兼任）准教授の科目を2科目（身体障害作業療法治療学各論、身体障害作業療法治療学演習）削除
- ・科目担当者の見直しにより長尾 晋宏（兼任）講師の科目を1科目（基礎英語演習）追加
- ・科目担当者の見直しにより小田 啓之（兼任）講師の科目を1科目（基礎体育）追加
- ・科目担当者の見直しにより松尾 浩希（兼任）講師の科目を1科目（身体運動科学）削除
- ・科目担当者の見直しにより中村 有希（兼任）講師の科目を1科目（リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む））追加
- ・科目担当者の見直しにより芝 さやか（兼任）講師の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）追加
- ・科目担当者の見直しにより鮎澤 俊平（兼任）講師の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）追加
- ・科目担当者の見直しにより林 真太郎（兼任）助教の科目を1科目（総合リハビリテーションIPW演習）追加
- ・科目担当者の見直しにより日高 明（兼任）講師の科目を1科目（生命倫理学）削除
- ・科目担当者の見直しにより掛川 直之（兼任）講師の科目を1科目（社会福祉学）削除
- ・科目担当者の見直しにより竹内 恵子（兼任）講師の科目を2科目（英語Ⅰ（初級）、英語Ⅱ（中級））削除
- ・科目担当者の見直しにより渋谷 静英（兼任）講師の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）削除
- ・科目担当者の見直しにより戸名（井下）久美子（兼任）講師の科目を1科目（チームリハビリテーション概論）削除
- ・科目担当者の見直しにより田中 美子（兼任）講師の科目を1科目（生命倫理学）追加
- ・科目担当者の見直しにより伊東 香純（兼任）講師の科目を1科目（社会福祉学）追加
- ・科目担当者の見直しにより田中 友理（兼任）講師の科目を2科目（英語Ⅰ（初級）、英語Ⅱ（中級））追加
- ・科目担当者の見直しにより伊藤（茂原）直子（兼任）講師の科目を1科目（小児科学（人間発達学））追加

(注) ・変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
・A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	8
	4
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	0	4	1	10	0	4	3	3	2	12	0
(5)	(0)	(6)	(1)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	3	3	2	12	0	4	3	3	2	12	0
[Δ1]	[3]	[Δ1]	[1]	[2]	[0]	[Δ1]	[3]	[Δ1]	[1]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{10} = \boxed{120} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	小林 貴代	R5.3	必修	基礎ゼミナール	①	R5.3 一身上の都合のため辞任 (5)
				必修	チーム医療見学実習	①	
				必修	医療コミュニケーション	①	
				必修	チーム医療論	①	
				必修	IPW論	①	
				必修	日常生活活動学	①	
				必修	身体障害作業療法治療学総論	①	
				必修	身体障害作業療法治療学各論	①	
				必修	義肢装具学	①	
				必修	作業療法特論Ⅰ	①	
				必修	作業療法特論Ⅱ	①	
				選択	身体障害作業療法治療学演習	①	
				必修	生活環境論	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				選択	卒業研究Ⅱ (身体障害)	①	
				必修	臨地見学実習	①	
必修	臨床検査実習	①					
必修	地域作業療法実習	①					
必修	臨床評価実習	①					
必修	臨床総合実習	①					
2	教授	伊藤 (茂原) 直子	R6.3	必修	基礎ゼミナール	①	R6.3 一身上の都合のため辞任 (6)
				必修	チーム医療見学実習	①	
				必修	IPW論	①	
				必修	リハビリテーション概論	①	
				必修	小児科学 (人間発達学)	①	
				必修	作業療法概論	①	
				必修	発達障害作業療法評価学	①	
				必修	発達障害作業療法治療学総論	①	
				必修	発達障害作業療法治療学各論	①	
				必修	作業療法特論Ⅰ	①	
				必修	作業療法特論Ⅱ	①	
				選択	発達障害作業療法治療学演習	①	
				必修	障害者地域生活支援論	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				選択	卒業研究Ⅱ (発達障害)	①	
				必修	臨地見学実習	①	
必修	臨床検査実習	①					
必修	地域作業療法実習	①					
必修	臨床評価実習	①					
必修	臨床総合実習	①					

合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	36	科目	必修	36	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	40	科目	計	40	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	36	科目	必修	36	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	40	科目	計	40	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③ \text{合計}(D)+(F)}{(2)-② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{10} = 20\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

自己都合による退職のため、致し方ないと思う。令和5年4月に専任教員1名(教授)、令和6年4月に専任教員1名(助教)の後任補充を行ったため、教育内容や学生への履修への影響は無いと思う。また学生へは事前にシラバス及び時間割発表時に周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和3年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【届出】 遵守事項 本学の定年規程では、新学科の教員について完成年度末までの在籍を認めているため、定年年齢に達した教員を完成年度まで在籍させることとする。	履行中 完成年度までは定年年齢を超える教員も在籍させるが、完成年度以降は必要に応じて再雇用で教員の在籍を継続し、教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、適宜後任を補充していく。また、教員の年代・職位別配置計画を策定するとともに、若手教員についてはプロジェクトの積極的採用や学位取得のサポート等で育成をはかっていく。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。(総合リハビリテーション学部作業療法学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 令和5年度はコロナ禍の影響もあり、入学者数を予測するのが困難であったため定員超過率は1.25となっていました。今年度の入学者数は48名で定員超過率は1.2と減少している。定員超過となってしまった主な原因として、見込んでいた第2、第3志望の合格者の辞退数が、予想していたよりも少なく、その結果、超過率が上がってしまったと考える。	履行中 今後の対策として、まずは直近の保留率の分析を行い、適切な入学者数を予測し、定員超過の改善を図っていく。そのために、第1志望の入学者をしっかりと確保することで、予測の精度を上げ、収容定員の管理に努めていきたい。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合リハビリテーション学部 作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画に関する変更は特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>自己点検評価・FSD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>令和5年度において12回実施した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 全体SD研修について ・令和4年度教職課程自己点検評価報告書について ・2022年度 学生満足度調査のフィードバックについて ・ガバナンス・コード 2023年度実施状況点検について ・2023年度 エビデンス集データ編について ・2023年度 前期授業評価アンケート調査結果について ・令和5年度教育の質に係る客観的指標回答について ・教育方法改善研究会メンバーの公募について ・2023年度前期リフレクションペーパーについて ・ダイバーシティセンター設置に伴う合理的配慮のセミナー実施について ・令和5年度理学療法学科・作業療法学科 自己点検評価書について ・2024年度 授業評価アンケート及び公開授業の新たな取組みについて ・自己点検評価・FSD委員会 事業計画進捗報告について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度自己点検に係るエビデンス集・データ編の作成および公開の実施 ・学内FSDセミナーの開催 ・令和5年度授業評価アンケート、公開授業週間の実施 ・大学院自己点検評価・FSD委員会の設置 ・学外研修会・セミナー等の案内 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員全体に向けた授業評価アンケート結果に基づくフィードバック会 ・教員全体の公開授業週間のアンケート、その結果に基づくフィードバック会 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の授業評価アンケートは 前期(令和5年6,7月)に全学科・全学年延べ8,575件 後期(令和5年10月～令和6年2月)に全学科・全学年延べ9,040件実施した。 なお、当該学科において前期・後期合わせて 保健医療学部 作業療法学科221件 総合リハビリテーション学部 作業療法学科1,051件実施した。 ・令和5年度の公開授業週間は 前期(令和5年6,7月頃)に実施し、公開授業科目数72科目、授業参観教職員数が延べ680名参加した。 後期(令和5年12月,令和6年1月)に実施し、公開授業科目数56科目、授業参観教職員数が延べ563名参加した。 ・FSDセミナーとして 令和5年9月～令和5年12月「令和5年度 研究費コンプライアンス研修会(動画配信)」 234名受講口 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>令和5年度においては前期(令和5年7月)、後期(令和5年11月)に実施した。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>学生に対しては掲示板において授業アンケートの結果と教員側からのコメントをまとめたリフレクションペーパーの結果の公表を実施している。教職員に対しては授業アンケートの結果とリフレクションペーパーの一覧をフィードバック会で配布する。</p>

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置計画に記載した設置の趣旨・目的の達成に向け、計画通り、教育研究活動を実行できている。
令和6年入学者においては48名を受け入れた。今後も継続して教育活動の充実を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・令和6年8月末日 公表予定

b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)
・令和2年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、審査の結果令和3年3月に適合の認定を受けた。令和9年度に受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

◀ aで「有」の場合 ▶

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。